

## 110周年記念式典 実行委員長あいさつ

本日は、お忙し中、新潟県立長岡農業高等学校創立110周年記念式典に、多くのご来賓の方々、また、多くの皆様からご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

さて、新潟県立長岡農業高等学校は、明治41年古志郡立上組農学校として開校し、変遷を経て昭和29年、新潟県立長岡農業高等学校として、明治、大正、昭和、平成そして次の時代へ歩み出そうとしています。本年、創立110年の節目の年として、この記念式典が挙行されております。これも、地域に支えられ、長農を卒業された1万6千余名の卒業生が地域社会の有為な人材として各界で活躍しておられる賜と痛感し、その努力や情熱を決して忘れてはならないと、110年の重みを感じるたびに、胸を熱くする次第です。

思い起こせば、100周年からのこの10年、東日本大震災をはじめ数々の自然災害に襲われ、その度に立ち上がり復興してきた源こそ、農耕民族である我々農業人ではないでしょうか。その農業を学んだ、また、学んでいる我々が、これから起こりうる人口減少問題にも、食糧確保に一端を担うことになることになるでしょう。農業高校、それも、長農で学ぶ意味を再認識して更なる発展を遂げていきましょう。長農魂を決して忘れず、背中に長農卒という看板を背負い、正々堂々と前を向き行きましょう。

在校生の皆様、これから幾度の苦難訪れるかもしれません。そんな時には、校歌の  
♪いざ誠実と勤勉の道一すじにすすみなん♪

を口ずさみ勇姿千古で行きましょう。

最後になりましたが、創立110周年記念事業に際しまして、皆様からお寄せいただいた物心両面の御協力、御支援に対しまして心から感謝の意を表し、実行委員長のあいさつとさせていただきます。

「地域と共に歩み続けて110年」  
～新たなる伝統を築け～

本日は、ありがとうございました。